

留萌市社会教育振興計画

前期計画

平成 29 年度～平成 33 年度 (2017～2021)



留萌市教育委員会

留萌市社会教育振興計画の概要

1 計画策定の趣旨

社会教育は、人びとが心豊かに生きがいと潤いに満ちた人生を送ることができるよう、個人が学びたいことを自発的、主体的に学ぶものであり、自分にあった学習手段や方法を選びながら、生涯を通じて行う学習です。

本市においては、すべての市民があらゆる機会、あらゆる場面を利用して、自ら学ぶことができるよう、学習機会の充実や学習環境の整備に努め、学習成果を地域に還元する仕組みづくりにも取り組んできました。

このような中、多様化する生涯学習のニーズの広がりや社会環境の変化に対応していくために、将来にわたって「だれでも、いつでも、気軽に」参加することができる新たな学習環境の整備や事業の充実が求められており、また、学びによる地域とのつながりや人と人との絆を確かなものにしていくことが必要となっています。

こうした現状を踏まえ、市民協働により、本市の社会教育を将来にわたって体系的・計画的かつ総合的に推進し、市民一人ひとりがあらゆる機会に、あらゆる場所で自己実現に向かってさまざまな学習に取り組み、新たな時代における諸課題を生涯学習という側面から解決していくことにより、いきいきと暮らすことができるよう、本計画を策定するものです。

2 計画の期間

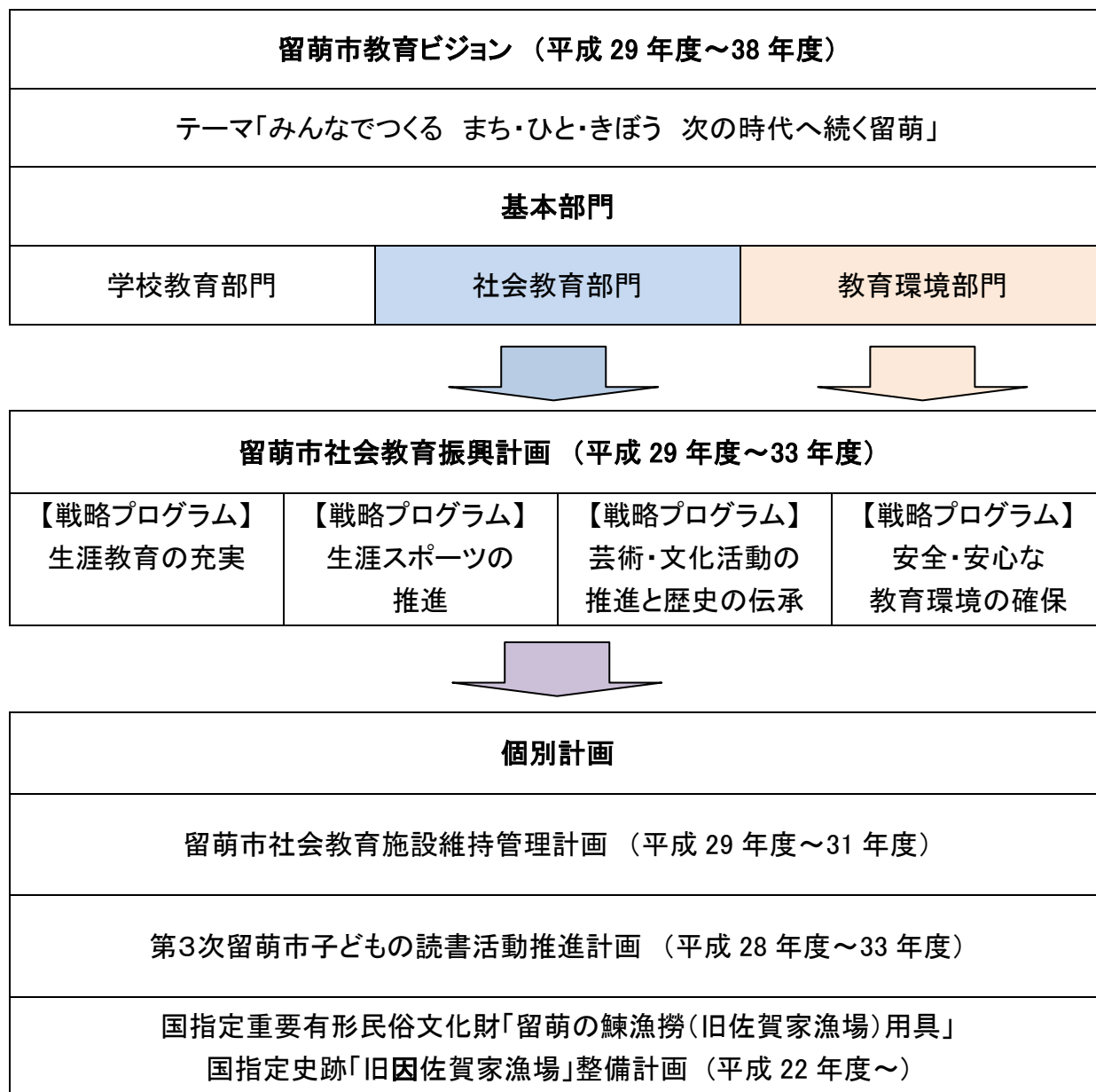
計画の期間は、社会・経済環境の変化、市民ニーズなどを踏まえ、見直しできるようにするため、前期計画と後期計画に分け、各5年計画としました。

前期計画：平成 29 年度から 33 年度まで(2017 年度から 2021 年度まで)

後期計画：平成 34 年度から 38 年度まで(2022 年度から 2026 年度まで)

3 計画の構想

留萌市教育ビジョンの社会教育部門に掲げる3つの戦略プログラム、また、教育環境部門に掲げる1つの戦略プログラムの分類に基づき、それぞれの現状と課題を整理し、施策の方向性を定め、目指す姿の達成に向けた取り組みを設定しました。



留萌市社会教育振興計画 前期計画体系

目 次

社会教育部門

【戦略プログラム】

I 生涯教育の充実 1

基本施策

I-1 学習支援体制の充実 2

I-2 学習機会の提供 3

I-3 地域コミュニティづくりの推進 4

I-4 学習環境の整備 5

【戦略プログラム】

II 生涯スポーツの推進 6

基本施策

II-1 スポーツを楽しむ環境づくり 7

II-2 地域スポーツ活動の推進 8

II-3 競技スポーツとスポーツ関係団体との連携支援 9

【戦略プログラム】

III 芸術・文化活動の推進と歴史の伝承 10

基本施策

III-1 芸術・文化活動への支援と顕彰 11

III-2 芸術・文化活動の担い手育成 12

III-3 文化財の保存と活用の推進 13

教育環境部門

【戦略プログラム】

I 安全・安心な教育環境の確保 14

基本施策

I-1 社会教育施設の環境整備 15

社会教育部門

【戦略プログラム】

I 生涯教育の充実

視点	市民協働により、子どもから高齢者までの様々な学習ニーズに応える社会教育事業の推進と学習機会を拡充すること
-----------	--

5年後の目指す姿

市民や社会のニーズに応じた学習機会や学習プログラムが充実し、市民や関係機関、行政との連携や社会教育施設では指定管理者との連携事業が進められるなど、地域に根差した「学び」の支援体制や世代間交流が促進し、地域のリーダーとなる人材が育成されています。

数値目標

(現状：平成27年度)

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
市民一人当たりの公民館年間延利用回数(回)	1.52	1.54	1.56	1.58	1.61	1.63
市民一人当たりの文化センター年間延利用回数(回)	1.03	1.04	1.06	1.07	1.09	1.10
市民一人当たりの図書館年間延利用回数(回)	1.00	1.01	1.03	1.04	1.06	1.07

■現状と課題

- 高度化、多様化している市民の学習ニーズに対応するため、生涯学習リーダーバンクへの登録と活用などを図ってきましたが、市民の生涯学習に対する関心を高め、幅広い学習機会を提供するためには、中央公民館や市立留萌図書館などの社会教育施設において、生涯を通じて自主的な学習を支える取り組みが必要となっています。

また、これまでの人生での豊かな経験や知識・技能を活かすため、地域で活躍している人材の情報を収集し、活用していくことが必要です。

- 「社会教育委員の会議」については、社会教育全般における計画策定や毎年の実施事業に対し、意見反映をしてきたほか、自主研修の場を作り、自己研さんを行ってきましたが、今後については、これまでの活動に加え、教育委員会の諮問に対し、積極的な意見を述べていくほか、教育委員会に対する助言や社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言や指導をすることが求められています。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 生涯学習リーダーバンク登録事業については、登録に向けた啓発活動をさらに進めるとともに、小・中学校からの講師派遣に係るニーズの把握や、地域に向けて情報発信するなど、周知・活用に努めていきます。
- 生涯学習に対する関心を高め、幅広い学習機会の提供に努めていきます。
- 「社会教育委員の会議」については、生涯学習社会の実現を目指す活動として、定期的な会議の開催や、実施事業に対する意見反映などを継続するとともに、教育委員会に対する助言や社会教育関係団体、社会教育指導者、その他関係者に対し、助言や指導ができるよう、自主研修の場の充実に努めていきます。

1. 市民ニーズを把握するためのアンケート調査等の取り組み
2. 社会教育関係団体等の状況調査の取り組み
3. 講師人材ネットワーク情報の発信(リーダーバンク)
4. 審議会等事業 など

■現状と課題

- 高度化・多様化している市民の学習ニーズに応えるため、各種事業の展開など学習機会の提供に努めてきましたが、参加者の減少や固定化などが見られており、今後も魅力のある事業メニューを企画するなど、特色を生かした学習機会の提供と学習環境づくりが求められています。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 健全な人間形成に向けての大事な出発点となる幼・少年期から人生の豊かな経験を持つ高齢期まで、多様な学習ニーズに対応する魅力ある講座や事業メニューの企画など、社会の要請に応じた学習機会の充実に努めるとともに、仕事をしながらも学習できる環境づくり、また、定年退職後の人生をよりよく生きるための生きがいづくりや仲間づくりなどを目的とした、学習機会の提供と学習環境づくりに努めていきます。

1. 持続可能な社会づくりに向けた学習機会の充実
2. 大学等と連携した学習機会の提供
3. 気軽に学習できる学習機会と学習空間の提供
4. 図書館主催のイベントやお話し会及び関連図書の紹介
5. PTA活動への支援 など

■現状と課題

- 児童生徒の健全な成長を図ることを目的としたPTA活動は、地域活動においても大切であり、今の子どもたちが抱えている問題を把握し、家庭や地域の役割は何か、PTAではどのような取り組みをすればよいか等を学習して活動を行っていくことが大切なことから、PTAの学習活動への支援を行ってきましたが、今後においても支援の継続が必要です。
- 地域に根ざした学習支援や地域のリーダーとなる人材を育成していくためには、学習者が講師として活躍する場の提供や学習成果を地域に還元できる体制が必要です。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 児童生徒の健全な成長を図ることを目的としたPTA活動に対しては、継続的な支援が必要であることから、PTA研究大会への支援を継続していきます。
- 地域の課題解決につながる学習機会の提供に努めるとともに、生涯学習リーダーバンクを活用し、学習者が講師として活躍する場の提供や学習成果を地域に還元できる体制づくりに努めていきます。

1. PTA活動への支援
2. 講師人材ネットワーク情報の発信（リーダーバンク） など

■現状と課題

- 生涯学習機会の多様なニーズに応えるための各種講座の開催や学習機会の提供に取り組んできましたが、今後は、それらの取り組みを継続しながら、それぞれの学習活動に必要な学習機会や指導者等の情報発信が必要です。
また、行政や指定管理者が実施してきた事業については、適切な点検・評価による見直しに努める必要があります。
- 読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力や想像力を豊かにするためには不可欠なものですが、全国的に小学生から中学生へと学齢が上がるにつれて、読書離れが進む傾向が認められており、本市においても同様の傾向が伺えることから、市立留萌図書館、中央公民館、学校、家庭、地域それぞれの場において、子どもが読書に親しむ機会と子どもの読書を支える環境を充実させるため、読書に関わる人々の一層の連携・交流が求められています。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 生涯学習機会の多様なニーズに応えるための各種講座の開催や学習機会の提供を継続するほか、実施事業等の適切な点検・評価による見直しに努めていきます。
- 市立留萌図書館を管理する指定管理者や図書館ボランティアとの連携を図りながら、市民の読書活動を推進するためのサービスの向上に努めていきます。
- 「第3次留萌市子どもの読書活動推進計画」の推進に努めるとともに、学校図書館や学校図書館ボランティアとの連携・協力を努めていきます。

1. 中央公民館や市立留萌図書館等の生涯学習事業を実施する施設間の幅広い連携
2. 家庭、地域、学校の各方面での子どもの読書活動の促進
3. 市立留萌図書館と学校図書館との連携 など

【戦略プログラム】

Ⅱ 生涯スポーツの推進

視点	子どもたちに基礎的な運動習慣が身につくよう生涯スポーツの基礎づくりに努めるとともに、身近な地域で誰もがスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の基盤をつくること
-----------	--

5年後の目指す姿

市民の誰もが目的にあったスポーツに親しみ、楽しむことができる環境が整い、地域の身近な施設が活用され、関係団体との連携による生涯スポーツに向けた環境やスポーツ振興と交流人口の拡大により、地域の活性化が図られています。

数値目標

(現状：平成27年度)

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
市民一人当たりのスポーツセンター年間延利用回数(回)	1.68	1.70	1.72	1.75	1.77	1.80
スポーツ合宿による延宿泊数(延泊)	89 (3団体)	150 以上 (5団体)	150 以上 (5団体)	150 以上 (5団体)	150 以上 (5団体)	150 以上 (5団体)

■現状と課題

- 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指し、指定管理者や総合型地域スポーツクラブなどでは、内容を改善しながら各種スポーツ事業の実施に努めていますが、参加者は横ばい状態が続いています。
また、各施設の利用状況は、各年度により増減がありますが、全体として減少傾向にあることから、スポーツ活動の推進を図るため、市民の健康増進や体力向上、ライフスタイルの変化などに対応し、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりや情報提供できる環境づくりが必要となっています。
- 子どもたちの体力向上のための事業展開を図ってきましたが、今後においても継続していくことが必要です。
- 平成 26 年度から、温水プールふるもは、小学校プール授業専用として一部再開し、小学校の夏季休業期間中を一般開放していますが、今後においても施設の利活用に努めていく必要があります。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 指定管理者や総合型地域スポーツクラブなどと連携し、市民ニーズを反映した各種スポーツ事業の展開、また、歩くスキーやウォーキングをはじめとする日常生活の中で気軽に取り組むことができる運動の普及啓発など、スポーツ活動への参加機会の提供に努めるとともに、既存施設の利活用に努めていきます。
- 各種スポーツ情報や施設の利用状況などの情報提供に努めていきます。
- 子どもたちの体力向上につなげる「子どもの体力アップ推進事業」などの事業の継続と内容の見直しに努めていきます。
- 温水プールふるもは、小学校プール授業専用として継続し、現在実施している一般開放についても継続して実施するとともに、アンケート調査によるニーズの把握や関係団体等との意見交換などを通じて、施設の利活用につながる事業の研究に努めていきます。

1. 多様なスポーツに親しむことができる機会の拡大
2. 子どもたちの体力向上のためのスポーツの充実
3. 学校教育における水泳授業などの学習環境の継続 など

■現状と課題

- 生涯を通じたスポーツ活動の基盤を形成するには、身近な地域で誰もがスポーツを楽しむことができる体制づくりや環境づくりが求められています。
- 生涯にわたって積極的にスポーツに取り組むことができるよう、幼児期から体を動かす習慣や意欲を養う必要がありますが、子どもを取り巻く生活環境の変化に伴い、外遊びや集団遊びをする機会の減少などによる運動能力の低下が懸念されることから、総合型地域スポーツクラブや地域の指導者などとも連携しながら、子どもたちのスポーツ活動を支援する体制づくりに取り組む必要があります。
- 市民のスポーツ活動の場として、スポーツセンターや勤労者体育センター等のスポーツ施設に加え、学校体育施設などが活用されていますが、今後においても、地域の身近なスポーツ施設としての活用が図られる必要があります。

前期計画推進の基本施策の考え方

- NPO法人留萌体育協会や総合型地域スポーツクラブなどとも連携し、身近な地域で誰もがスポーツを楽しむことができる体制づくりや環境づくりに努めていきます。
- 幼児期から体を動かす習慣や意欲を養うことができるよう、NPO法人留萌体育協会や総合型地域スポーツクラブ、地域の指導者などとも連携しながら、子どもたちのスポーツ活動を支援する体制づくりに努めていきます。
- 地域における身近なスポーツ活動の場の確保としての学校開故事業を継続するとともに、多くのスポーツ団体が利用できるよう、施設の効率的な活用に努めていきます。

1. 多様なスポーツを親しむことが出来る体制づくり
2. スポーツ活動を支援する体制づくり
3. スポーツ交流・スポーツ合宿を通じたまちづくりの促進 など

■現状と課題

- スポーツの振興を図るため、スポーツ振興に係わる講習会等の開催やスポーツ大会の開催、また、全道大会、全国大会に出場する選手派遣に対し、支援してきましたが、今後においても支援の継続が必要です。
- 平成26年度から3年間の研究事業を行ったスポーツ合宿の誘致については、合宿誘致に向けた課題を整理しながら、可能性について方向性を見出していく必要があります。

前期計画推進の基本施策の考え方

- スポーツ振興に係わる講習会等の開催やスポーツ大会の開催、また、全道大会、全国大会に出場する選手派遣費への助成を継続し、負担軽減に努めるとともに、活用しやすい制度となるよう見直しに努めていきます。
- スポーツ合宿誘致については、合宿団体の負担軽減に努めるなど積極的な支援に努めるとともに、市内競技団体との交流など、スポーツ人口の底辺拡大につなげる機会の提供に努めていきます。

1. スポーツ振興助成事業の充実
2. スポーツ合宿誘致事業 など

【戦略プログラム】

Ⅲ 芸術・文化活動の推進と歴史の伝承

視点	芸術・文化活動の促進と鑑賞機会の拡大、文化関係団体等を育成・支援すること
-----------	--------------------------------------

5年後の目指す姿

文化関係団体等の育成、支援が図られているとともに、地域のさまざまな人材と連携し、専門知識の継承や芸術・文化に親しむ機会が拡大されながら、次世代の文化の担い手の育成につながっています。

市民の郷土学習の場や学習資源として、文化財の活用が図られています。

数値目標

(現状：平成27年度)

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
市民一人当たりの文化センター年間延利用回数(回)	1.03	1.04	1.06	1.07	1.09	1.10
音楽合宿による延宿泊数 (延泊)	486 (3団体)	1000 以上 (10団体)	1000 以上 (10団体)	1000 以上 (10団体)	1000 以上 (10団体)	1000 以上 (10団体)
旧佐賀家漁場の視察団体数 (団体)	2団体	5団体 以上	5団体 以上	5団体 以上	5団体 以上	5団体 以上

■現状と課題

- 子どもたちへ芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな感性の成長につながるよう支援してきましたが、今後においても子どもたちのニーズを把握しながら演目を選定する必要があります。
- 市民団体が行う発表事業などの支援や平成 28 年度からは、文化活動に係る大会派遣への支援を行い、負担の軽減を図ってきましたが、新たな団体においても活用しやすい制度への見直しが必要となっています。
- 文化関係活動団体等の継続的な学習活動につなげるため、学んだことを生かし、発表できる場の提供が必要です。
- 市民団体による音楽合宿の受入れ等が進み、団体受入れのための環境整備や条件整備などを行ってきましたが、今後も多くの音楽合宿を受け入れるための支援が必要となっています。
- 科学、芸術、教育などの向上、発展に関し功績のあった個人や団体を顕彰してきましたが、今後においても継続していくことが必要です。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 豊かな感性の成長を支援するため、子どもたちへ優れた芸術を鑑賞する機会の提供を継続するとともに、演目の選定においては、子どもたちの意見を反映していきます。
- 市民団体による舞台芸術などの発表事業や文化活動事業、また、文化活動に係る大会派遣などへの支援を継続するとともに、新たな団体においても利用しやすい制度への見直しに努めていきます。
- 文化関係活動団体等の継続的な学習活動と活性化につなげるため、学んだことを活かし、発表できる場の提供に努めていきます。
- 音楽合宿については、合宿団体の負担軽減に努めるなど、受入れを進めるための支援に努めるとともに、市民と交流できる機会の提供に努めます。
- 芸術・文化活動の活性化にもつながることから、科学(自然科学、人文科学)、芸術(美術、文学、音楽、芸能)、教育(学校教育、社会教育)などの分野において、文化の向上、発展に功績のあった個人や団体への顕彰に努めていきます。

1. 子どもたちの鑑賞機会の充実、芸術活動への支援
2. 創作活動の場や、作品の発表機会の確保に対する支援
3. 音楽合宿への支援と交流の場の拡大
4. 芸術文化団体への支援 など

■現状と課題

- 心のゆとりや潤いにつながる音楽や舞踊、趣味、創作など、多様な文化関係団体が活動していますが、高齢化や過疎化に伴う若年層の減少から、活動の担い手不足が課題となっています。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 地域のさまざまな人材と連携し、専門知識の継承や芸術・文化に親しむ機会を拡充しながら、次世代の文化の担い手育成に努めていきます。
- 専門的知識を持った人材との交流を深めながら、郷土の歴史や文化を伝える講座の充実に努めていきます。

1. 講師人材ネットワーク情報の発信(リーダーバンク)
2. 伝統文化を次世代に伝える学習機会の提供
3. 郷土研究・地域研究の奨励 など

■現状と課題

- 歴史・民俗などの有形・無形の文化遺産の調査を進め、文化財として指定し、適切に保存・保護に努めてきましたが、今後においても継続することが求められます。
- これまでも重要有形民俗文化財「留萌の鯨漁撈(旧佐賀家漁場)用具」、国指定史跡「旧留萌佐賀家漁場」の保存・保護に努めてきましたが、今後においても、適切な保存・保護と活用に努めていく必要があります。
- 古文書等の歴史・文化の資料等を収集し、適切な保存と活用に努めてきましたが、今後においても継続することが求められています。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 歴史・民俗などの有形・無形の文化遺産の適切な保存、保護に努めるとともに、市民の学習資源として活用に努めていきます。
- 「旧佐賀家漁場」の一般公開の継続や個別の施設視察などへの対応など、活用に努めていきます。
- 重要有形民俗文化財「留萌の鯨漁撈(旧佐賀家漁場)用具」、国指定史跡「旧留萌佐賀家漁場」の適切な保存・保護に努めるとともに、市民の郷土学習の場や学習資源として活用に努めていきます。
- 現在実施している「旧佐賀家漁場」の古文書等のデータ化を進め、適切な保存と活用に努めていきます。

1. 学習文化財の整理・保存・提供事業の推進
2. 重要有形文化財・国指定史跡の活用 など

教育環境部門

【戦略プログラム】

I 安全・安心な教育環境の確保

視点	生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組むことができる、安全・安心で質の高い教育環境を整備すること
-----------	---

5年後の目指す姿	全ての利用者が利用しやすい社会教育施設となるよう、適切に維持・管理されています。
-----------------	--

■現状と課題

- 社会教育施設(中央公民館、文化センター、スポーツセンター、勤労者体育センター、弓道場、温水プールふるも、神居岩スキー場、市立留萌図書館)については、全体的に老朽化が進んでおり、適切な維持・管理が求められています。

前期計画推進の基本施策の考え方

- 「留萌市社会教育施設維持管理計画」に基づき、社会教育施設機能の維持・保全に努めていきます。

1. 留萌市社会教育施設維持管理計画の策定
2. 新たな社会教育施設の整備検討 など



■ 絵画【表紙】 作品名 「市立留萌図書館」

留萌市立東光小学校 6年 加藤 ^{りん} 凜 さん

■ 絵画【裏表紙】 作品名 「港に入る船」

留萌市立港南中学校 3年 太田 ^{あき} 晏 さん

発行 留萌市教育委員会
策定 平成29年1月

〒077-0031 留萌市幸町1丁目14番地
電話 0164-42-0435
FAX 0164-43-6312
E-mail syougaigakusyuu@e-rumoi.jp